

平成 30 年度の教育活動に対する学校評価書

平成 31 年 5 月 10 日

学校法人島田中央学園 みどり認定こども園

園長 今村 はる代

1 こども園の教育目標

元気に遊ぶ子

- 【知】自分で考え、のびのび表現できる子
- 【情】多くの友だちと関わりながら遊び、温かみのある子
- 【意・体】夢中になり、力いっぱいがんばる子
- 【躰】良い生活習慣を身につけている子

2 本年度の重点目標 (学校評価の具体的な目標・項目)

【明日が待たれるこども園】に向けて

- (1) 教育目標『元気に遊ぶ子』を踏まえ計画的に教育活動を展開している
- (2) こども園の行事は年齢に応じた、温かな体験を計画している
- (3) 子どもの発達段階や興味関心に応じた教育保育が行われている
- (4) 一人ひとりの個性を大切に意欲や自信を持たせている
- (5) 集団生活に必要なきまりや、約束の大切さを指導している
- (6) 保育教諭は乳児理解の為、保護者と連携をとっている
- (7) 計画的に、避難訓練、安全点検を行い園児の安全管理に努めている
- (8) 環境衛生面の維持や体調管理に努め、定期的な健康診断を行い子どもの『健康』に配慮している
- (9) 自分の言葉で表現できる場を学年ごとに大切に、子ども同士で考え表現する意欲が発揮できるよう環境を整えている
- (10) こども園は子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっている

3 自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

評価項目		自己評価		学校関係者評価	
		評価点	こども園としての反省と	評価点	意見
1	教育目標『元気に遊ぶ子』を踏まえ計画的に教育活動を展開している	A	保護者、保育教諭とも高い評価だった。一年の活動を年・月・週日案で計画し、チェックしながら、『元気に遊ぶ』という姿に繋がっている。	A	PDCA サイクルに沿って計画実践、評価反省をし、『元気に遊ぶ』を目指し皿のより良い活動に繋がっているのは良いと思う。
2	こども園の行事は年齢に応じた温かな体験を経験している	A	生活の中に行事活動がうまく重なり季節を感じ、生活体験が豊かになるよう計画している。	A	子どもたちが四季の変化を感じ取れる行事を意図的に組んでいるのはとても良いと思う。
3	子どもの発達段階や、興味関心に応じた教育保育が行われている	B	『遊ぶ』という生活が幼児期には自然で不可欠なものである。一人ひとりの興味や関心はどのような教育計画や配慮、言葉かけなどから深まり展開していくのか工夫を積み上げさらに努力したい	B	一人ひとりの興味関心は異なり幅があるので、その子に応じた言葉かけや、環境設定は非常に難しく大変だと思うが、良く子どもの姿を捉えて指導されていると思う。

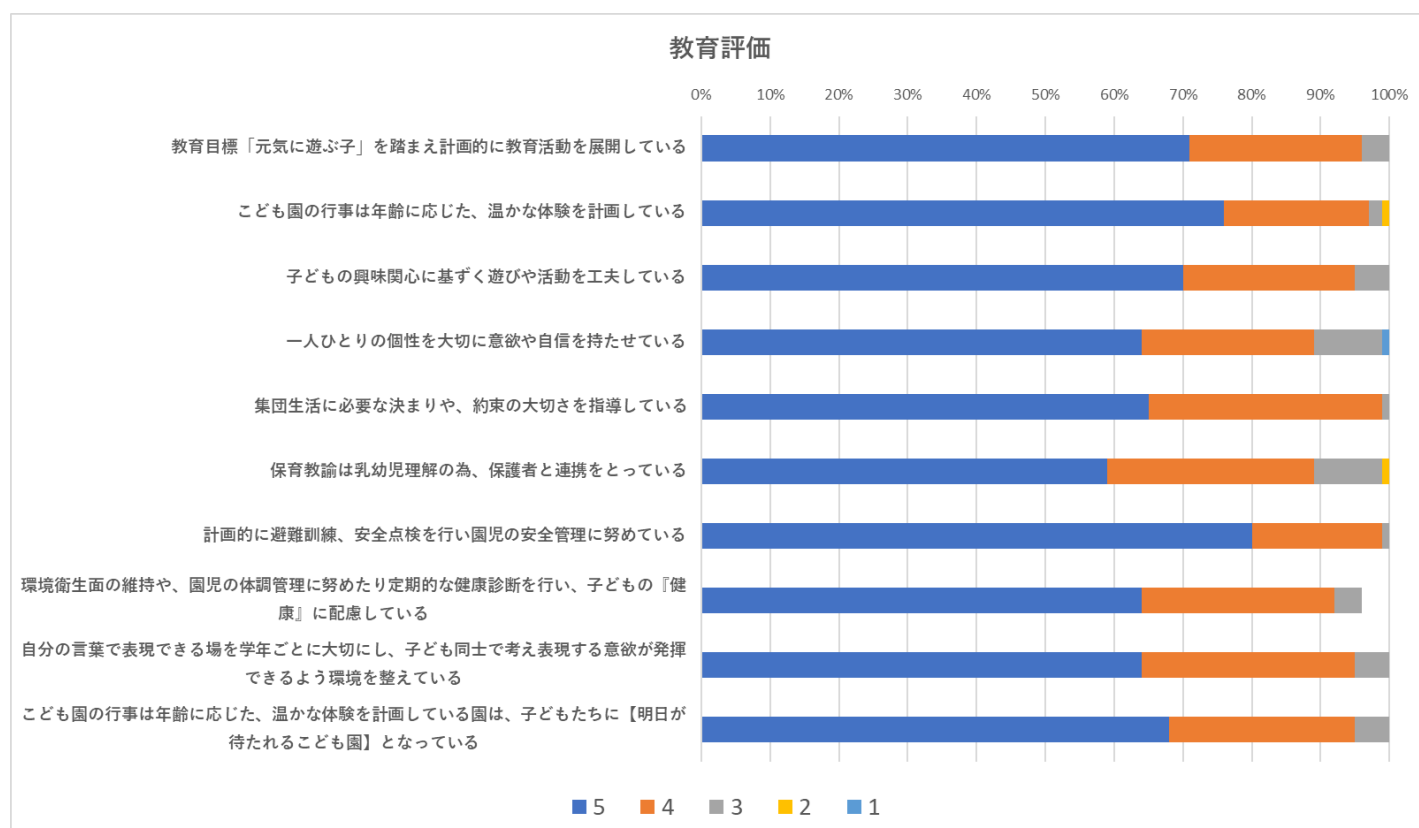
4	一人ひとりの個性を大切に意欲や自信を持たせている	A	個々への対応については精一杯指導している。特にエピソードとして記録をつけ思いを受け取り意欲や自信が育つように心がけている。	A	個々の記録をつける事はとても大切なことである。記録を取ることが目的ではなくそれを「子どもを伸ばすためにいかす」ということを忘れないでほしいと思う。
5	集団生活に必要なきまりや、約束の大切さを指導している	A	集団のなかで『学ぶ』という力がついている。自分の考えを伝える事、相手の気持ちを思いやることができるように指導配慮している。『きまり』や『約束』の大切さを常に伝えている。	A	幼児期から良いことといけない事をきちんと指導し、集団生活の役そぐ事や善悪の判断力をつけていくことが大切だと思う。
6	保育教諭は乳児理解の為、保護者と連携をとっている	B	乳児期、子どもはもちろん保護者への支援の大切さを感じる。まず、各ご家庭の子育て環境をしっかり掴み適切な連携が取れる様学びさらに、伝えていきたい。	B	園（保育者）と家庭（保護者）が同一歩調で子どもの成長を助けるために連携をすることが大切だと思う。その為にはおたがいに信頼し合う必要があると思う。
7	計画的に、避難訓練、安全点検を行い園児の安全管理に努めている	A	計画的に避難訓練を行った。毎月、反省を基にマンネリ化しないように保育者も子どもたちにも緊張感を持続させる訓練を工夫している。	A	行事、特に安全にかかわる避難くれんなどアンネリ化しないように毎回緊張感を持たせることが大切だと思う。
8	環境衛生面の維持や体調管理に努め、定期的な健康診断を行い子どもの『健康』に配慮している	A	保護者も、保育教諭も指導の全面に位置づけ心がけている。職員周知の徹底にも努力している。時期によっては、流行性の感染症が発生するので、日々の衛生管理に努力していく。	A	集団生活をしているので流行性の感染症には特に気配りが大切だと思う。手洗い、うがいは習慣化するといいと思う。
9	自分の言葉で表現できる場を学年ごとに大切に、子ども同士で考え表現する意欲が発揮できるよう環境を整えている	B	自己表現が高まるように、身近な当番活動や、個人的にお手伝いをさせながら、褒めて育てる機会を大切に、はずかしがらないで表現出来るような環境づくりをしている。	B	自分の感情をコントロールする為にも自分の思いを言葉で表現させること、とても大事だと思う。日々の豊かな体験や感動場面の設定が大切だと思う。
10	こども園は子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっている	A	保護者評価は高く、子どもたちに明日の活動を心待ちにする言葉かけを大切にしながら登園させている。教育目標と深くかかわる項目でもあるので、子どもたちとの生活を大切にしたい。	A	保護者の評価が高かったのは素晴らしいことであり、嬉しいことだと思う。年を重ねてもワクワクする気持ちを持てることが生きる上で大切だと思います。

平成 30 年度 みどり認定こども園の教育評価について（保護者アンケート集計結果）

平成 30 年度

NO	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
1	(102 人) 71%	(36 人) 25%	(5 人) 4%		
2	(108 人) 76%	(31 人) 21%	(3 人) 2%	(1 人) 1%	
3	(100 人) 70%	(36 人) 25%	(7 人) 5%		
4	(92 人) 64%	(36 人) 25%	(14 人) 10%		(1 人) 1%
5	(93 人) 65%	(48 人) 34%	(2 人) 1%		
6	(84 人) 59%	(43 人) 30%	(15 人) 10%	(1 人) 1%	
7	(114 人) 80%	(28 人) 19%	(1 人) 1%		
8	(101 人) 71%	(41 人) 28%	(1 人) 4%		
9	(92 人) 64%	(45 人) 31%	(6 人) 5%		
10	(98 人) 68%	(39 人) 27%	(6 人) 5%		

集計結果 保護者提出人数 143 名・



【考察】

教育評価アンケートを集計し全体で捉えています。5点、4点の合計点から10の項目を見ますと、どの項目も高い評価をいただきました。こども園全体としての評価ですので、大きな目で温かく応援し支えていただいている事に感謝申し上げます。

ひとつずつの項目を大事に検討していきます。

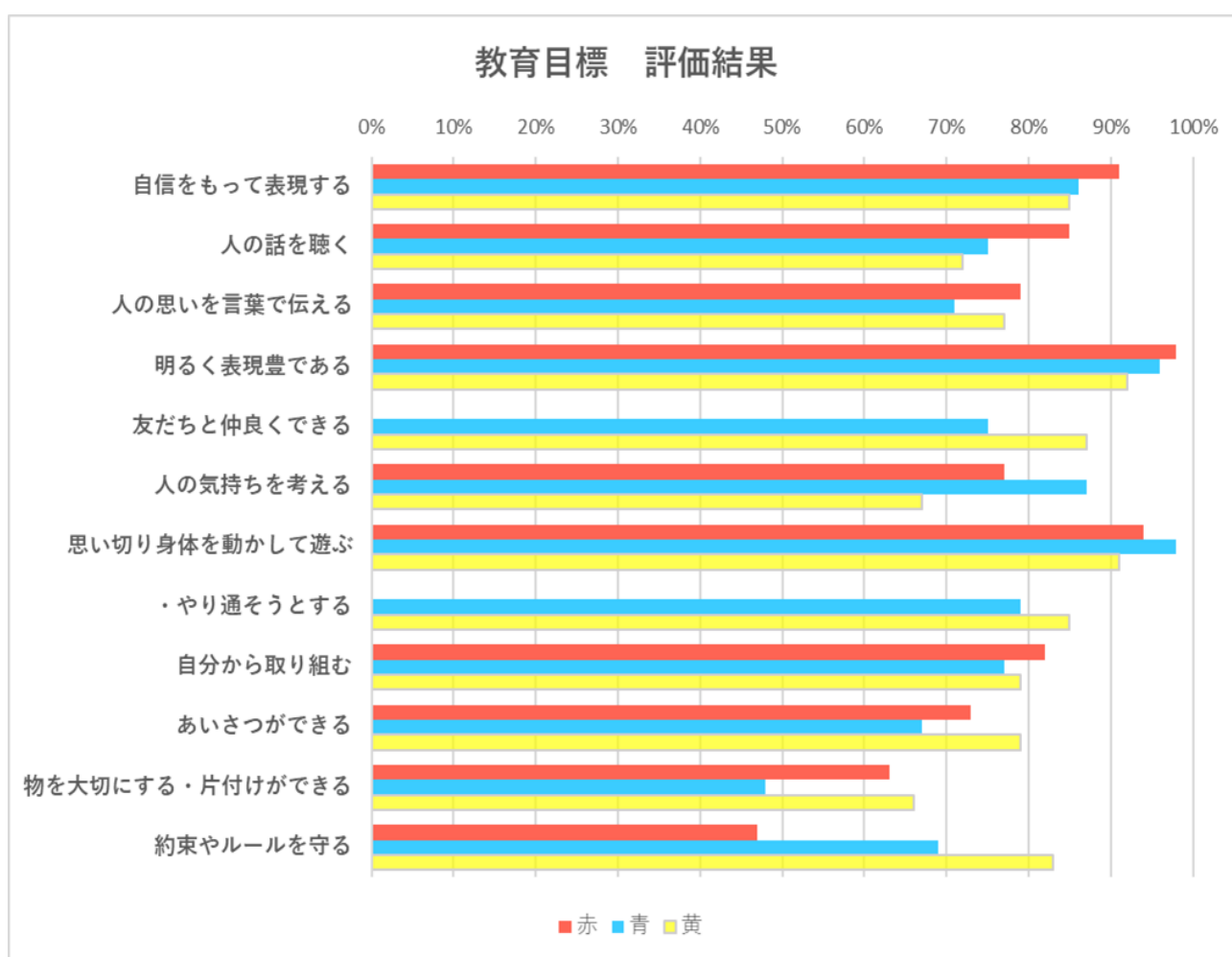
教育目標について

平成 30 年度

教育目標を学年別の具体的な表れを基に保護者の皆様に評価していただきました。学年の“目指す姿”の内容である『良い生活習慣を身につける』（物を大切にする・かたづけができる）という項目の評価の 4.5 点合計評価が 29 年度は低かったことから、30 年度のクラス経営の中でどうしたら「物を大切に出来る・片付けがうまくできる子」になっていくのか職員で検討してきました。片付けがしたくなる環境を工夫する、言葉かけの工夫をするなど保育教諭が手だてを変えながら身につくよう指導を続けています。

こども園全体の良さである力、『明るく表情豊かである』『おもいきり身体を動かして遊ぶ』の 2 項目は評価点が高く、それぞれの年齢の一年の成長を感じました。今年度も学年によって 50%を下回る項目があります。

教育目標は、子どもの生活目標でもありますので、どの項目への指導を続けていきます。



各学年の評価点が高い項目、評価点が低い項目を示し保護者連携をはかりこども園、保護者で達成できるよう努力していきます。平成 29 年度の評価でも『片付け』の達成度が課題でした。

赤組	青組	黄組
評価点の高い項目	評価点の高い項目	評価点の高い項目
明るく表情豊かである 思い切り身体を動かして遊ぶ	明るく表情豊かである 思い切り身体を動かして遊ぶ	明るく表情豊かである 思い切り身体を動かして遊ぶ
家庭からこども園という新しい社会生活を一年経験したことで、友だち、先生、こども園という環境に大きな刺激を受け遊びも表情も豊かに感じ評価して下さった結果です。	こども園生活 2 年目、個から集団へ周りの様子を見て過ごします。憧れも強く出来ない自分に納得しないで、心を開かない場合もでてきますが、どれもこれも成長している証です。 我慢、挑戦など赤組さんとは違う成長の中で評価点は高かったです。	生活の積み重ねがはっきりわかり、自己主張しながら自分の表現がはっきり出来るようになりました。元気が良くて、友だちと群れて遊び考えを伝えながら遊びを見つけて楽しんでいく様子に大きな成長を感じます。保護者の皆さんも身近に実感された評価点かと思います。
評価点が低い項目	評価点が低い項目	評価点が低い項目
物を大切にする 約束やルールを守る	物を大切にする・片付けが出来る 挨拶が出来る	物を大切にする・片付けが出来る 人の気持ちを考える
こども園でもご家庭でも“片付けは一緒にやる”を基本にして、習慣づけることが大切です。 集団でのルールは園で身に着けていきます。ご家庭での約束も、もうしっかり伝えても理解できます。褒めながら楽しく見守りましょう。	「自分から挨拶をする」は表現という事から見ると 4 歳児時期は、恥ずかしさが見られ、なかなか難しい年齢です。出来たり、出来なかったりの繰り返しですが「気持ちがいいね」と褒め続けて下さい。「物を大切にする・片付け・・・」に関しては満足して遊ぶことが自分から進んで片付けることにつながると思います。これも褒める事が一番です。	物を大切にする・片付けに関しては、遊びの満足感がある事で片付けが出来たり、声かけに耳が傾くようになると思います。次の日もいっぱい遊びたいという期待を持たせる言葉を探していきましょう。 人の気持ちを考えて行動できるは、これからずっと続く課題になります。「話をしっかり受け止める姿勢」が大人の示す行動だと考えます。

✿ 保護者から寄せられた意見

(ここは良い、これからも続けてほしいと思われるところのご意見です)

- 毎朝笑顔で迎えて下さりありがとうございます。安心して仕事に向うことができます。
- 学年問わず、一緒に行事や普段の生活をしていることで小さい子には優しく、そして負けないぞ！という気持ちを、上の子には、あこがれを持ち頑張ろうとする姿を見る事ができたので、続けてほしい。もっと縦割りでかかわってほしいです。
- 運動会も音楽発表会も、行事以外の日常生活のいろいろな場面でも、友だちとの関わりを大切にいろいろな活動をして下さっていて、子どもの成長を実感できています。行事の企画運営は大変でしょうが、これからも精選しつつも大切に続けていってほしいです。
- 発表会に手話の歌があったり、お年寄り年長者と接点があったりと思いやりや色々な人がいる事を早くから考える、知る機会をいただけるのは心の部分にとっても良いと感じます。あえて困るというチャンスも作って下さり自主性につながると感じます。
- ミールケアーさんのさんまの骨取り食育体験は良いと思いました。魚が苦手な家庭では教えようとしても聞かなかったが、先生や周囲の友だちを見て美味しく学べたように思います。
- 毎年、さつまいも楽しみにしています。どんぐりを拾いに行ったり、散歩などに行っていたら子どもは楽しそうです。
- クラスや年齢の枠を超えた交流が出来る所が良いと思います。
- 定期的な個人面談は続けてほしいです。
- 年2度の面接日にはゆっくり、じっくりお話ができ園での様子が聞ける為続けてほしいと思います。
- 4月の入園時は何もできなく、入園自体が心配でしたが、毎日たのしそうな顔で帰ってきて、一日の話をしてくれます。個人々の興味を引き出し、上達させてくれているように思います。
- 色々な体験をさせて下さる行事は今後も続けて頂きたいと思います。
- 楽しそうに、園に通えているのでなによりです。
- おたよりや写真で今、現場の取り組みや大切にしていることなどがよく伝わってきます。そして、園での生き生きとした笑顔の子どもの写真を見ているとみどりこども園に通えてよかったな！と思います。電話でも直接先生と情報交換できるので親も安心して過ごせました。
- 子どもたちの力や“気持ち”を大切にしている保育教育、今後も続けてほしいと思います。主体性やチャレンジ、やってみようという気持ちを伸ばしていきたいと個人的には思っています。
- 幼児期の“遊び”の大切さを考えて思い切り遊ばせている様子が良いと思います。学年に関わらず、縦割り活動のおかげで子どもたちがだれとでも仲良く出来る環境がいいな！と思います。お迎えに行った際、知らないお友達でも声をかけてきてくれるフレンドリーな雰囲気だと思っています。
- 全体を通して、園での生活や行事の中で日々の成長を感じさせていただけているように感じております。園に通うことを毎日楽しみにしている子どもを持って『明日が待たれるこども園』となっているように感じています。
- 園児だけでなく卒園児、未就園児にも声をかけてくれ、子どもたちは先生も園も大好きです。『明日が待たれるこども園』につながっているように感じます。

- 子どもたちが喜びそうな行事がたくさんあり楽しみにしています。どの先生も気軽に声をかけやすい雰囲気があり助かります。第2回の面談がいい。野菜中心のお給食も良い。
- 誕生会に招待してくれて嬉しいです。続けてほしいです。
- 縦割りペア活動を通して自分にはないお兄ちゃん存在を味あわせてもらっています。今、お兄ちゃんにとっても優しくしてもらっていることで、自分が年中、年長になった時に年下の子を思いやれる子になってくれたら・・・と楽しみでもあります。縦割り活動は続けてほしいです。
- ちゃんと注意しなければいけない事を園で指導して下さるのでありがたいです。
- 廃材を使って自由に作らせて下さるので自分で色々と考え発想豊かになるので楽しいと思います。
日々心をくだいていただき、何かある度に細かな事まで園での様子を伝えてくださるので助かります。
- 園外保育が沢山あり、いろいろな所で色々な遊びや体験をしてきてくれるのがとてもありがたいです。
- 良い所も改善するところも先生が話してくれるのでとてもありがたいです。先生や友だちからたくさん刺激を受けて日々成長しているので園生活が充実していて良いです。
- 悩んでいる事をちゃんと先生に聞くと答えやアドバイスをくれるので助かる。
当番など『特別』な感じが本人も嬉しそうなので良い。
- 毎月、子どもの様子をまとめて記録として残してくれるのは良いと思います。
- 絵本をたくさん借りてくる所。
- 担任の先生が、朝、子どもに会うとグーッと子どもを抱きしめてくれます。朝、その場面を見るたびに嬉しくて幸せな気持ちになれます。ずっと続けてほしいです。
- 先生方が、こどもの気持ちにより添ってくれていて子ども自身もとても信頼しているのが伝わってくるので、とても安心できました。

✿ 多方面から、多数のご意見をいただき感謝致します。

31年度も、子どもたちを中心に保育計画を立て、教育保育活動に努力してまいります。

✿ 改善してほしい こうしたらどうかなどの要望や意見もよせられました。

(一部意見を集約してお知らせします)

<保育活動・行事について>

- 学校行事とかぶってしまい、困りました。フェスタみどりは、夏の方が盛り上がる。浴衣を着て幼稚園に行くのを楽しみにしていたのに残念です。7月の始めとかはどうですか。
- 行事は年齢に応じていると思いますが、秋～冬にかけて少し行事が詰まりすぎているように感じます。覚える事が多すぎる。
- 運動会を全園児、午前中で終われるようにしてほしいです。
- 音楽発表会ですが、小学校と同じです。
- 運動会は園庭で行うのが一番望ましいが、延期が続くと大変なので小学校の体育館を借りることなどしておくことができればいいかなと思う。
予定を組むのは大変気遣っていただいていると思いますが、子どもが一生懸命練習してきた成果はなるべく時間を気にせずしっかり見届けたいな！というのが正直な気持ちです。
- 体操教室、わんぱくなど、出来る子ばかりが目されるのはわかりますが、出来ない子があこがれる気持ちも大切です。もう少し指導していただきたいです。
- 運動会の延期が続き日程の調整が大変でした。雨天の場合は、室内で出来る種目だけでもやっていただき、リレーなどは平日お迎えの時間前にやっていただけたら助かります。
- 上の子からの数年間お世話になっています。が、年々“みどり”の魅力が減っているような感じでさみしく思います。今年、赤組さん、運動会が半日でしたが、赤組としての運動会は一生に一度（体力的に大変ですが）頑張って、例年のように1日参加でも良かったのではないかと思います。赤組の保護者さんにも青組、黄組のがんばりをみてもらい来年の頑張りにつなげてほしかったです。“他の幼稚園は半日なので”との説明もありましたが、“みどりはみどりで”これからもみどりの良い所は続けてほしいです。
- 9/1 等保育園部は一日保育にした方がよいと思います。保育園部の洗濯機をなおすか解消してください。
- 出席ノートは毎日もって帰る必要はないと思います
- 職員人数が多く、先生の名前が覚えられないので、ネームプレート等をつけて頂くと声をかけやすいです。
- 保育部の子どもたちの性格や家庭環境により精神的不安定になる事を人と比べないで理解してほしい。それぞれの環境があります。特に夏休み冬休み前後は不安定になります。全員が長いお休みではないので配慮してもらいたいです。
- わんぱくの参観など“ご都合のつく方は”となっても実際にはほとんどの方が参観されていると思います。また、参観だけでなく見に来た人が活動にかかわる場面もあります。保育園部ですと出来るだけと思っても参観が難しいことも多いです。来られない家もあることや、高齢の祖父母では対応が難しい活動もある場合の配慮をして頂けると子どもの不安になりにくいと思います。

行事や保育活動及び内容につきましては、毎年改善を図っています。保護者の皆様のご希望も考慮し、教育目標達成を最優先して来年度の決定をしていきます。

<お弁当持参について>

- お出掛けしない日にお弁当持参はやめてほしい。
- 今年はお弁当の日が多すぎます。他の保育園では保護者が働いているのを配慮して遠足など以外は完全給食です。こども園に体制が変わったなら配慮すべきです。幼稚園ではないですから。

お弁当持参につきましては、一年の食数と（188食）保育日数からお弁当回数を設定しています。「お母さんのお弁当」がとても楽しみにする子どもたちです。

<その他>

- 英語教室などの回数をもっとふやしてほしい。
- 土曜保育の可能日を増やしてほしい。少人数でも受け入れてほしい。
- 休業中のさくらんぼを増やしていただけると働きやすくなる。
- トイレに何でスリッパを置かないか

長期休暇中の預かりは働くお母さんにとっては切実なご要望である事とかがえます。来年度今まで以上に増やすことはなかなか厳しいですが検討していきます。

長時間の保育を必要とする子どもさんもいます。色々な活動を十分に楽しみ、安心して安全に過ごせるように努力していきます。

常にトイレは清潔に清掃しています。清掃手順にそって子ども達が快適に利用できるようこれからも清潔環境に努めます。トイレにスリッパで入る事は考えていません

項 目	5	4	3	2	考 察
1. 保育の計画性					
* 「教育要領」を理解している	13	3			保育計画のもと学級経営がおこなわれている。週日案の書き方を検討する。
* 年間の保育計画をしっかりと立てている。	2	14			
* 楽しい雰囲気の中で子供たちが安心して飛び込める環境構成をしている	10	6			
* 季節の変化に応じた環境構成をしている	3	10	3		
* 自分の保育と計画の評価、反省を行うようにしている	9	5	2		
2. 保育のあり方・子供への対応					
* 園の教育目標を念頭において保育を進めている	8	8			園の教育目標『元気 に遊ぶ子』の学年に おける具体的な姿に 近づくようねらい を立て保育計画を 進めている。
* 登園時は特に視診を大切にして、子供の体調を確かめている	13	3			
* 園内に危険な箇所はないか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に応じて危険ではないかなど「危険」に対する対応を心がけている	9	7			
* 一人ひとりの子供をよく観察するよう心がけている	14	2			
* 子供同士の関わりをとらえるよう努力している	12	4			
* 子供の気持ちに共感しながら一緒に遊ぶ遊んでいる	8	7	1		
* 子供の心を傷つけたり、人権を無視した言葉や態度、関わりをしない	13	3			
* 子供一人ひとりのよさを認めるようにしている	14	2			
* 子供の話をよく聞くようにしている	13	3			
* 子供が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している	5	10	1		
* 子供を誉めたり励ましたり、目標を持たせるような言葉がけをしている	14	2			
3. 研修および資質能力の向上					
* わからないことは聞いたり、気がついたことは助言したりしている	10	6			『保育の質』が問われます。自己研修ということは、こどもと向き合う保育教諭にはなくてはならないものです。職員全体でさらに積み上げていきたい。
* 子供のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス学年を越えて情報を共有している	10	6			
* 専門書や専門雑誌をできるだけ読むように心がけている		10	6		
* 園の遊具や教材教具についてその特徴を知って積極的に使う	2	10	4		
* 身の回りの整理整頓に心がけている	4	8	3	1	
* 心配りのある電話の応対や応接をしている	9	7			
* 「職員の和（輪）」を大切にしている	13	3			
4. 保護者への対応					
* クラスや子供の様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラス便りなどで知らせる	6	7	3		保護者連携はかかすことの出来ません。 こども園の責務だと捉え、保育教諭間で連携している。
* 子どもの様子を、直接話をしたり電話、連絡帳などで知らせている	9	6	1		
* 保護者からの様々な訴えや要望意見については、安易に受けたり断ったり無視したりしないで、園長や主任などに報告や相談をしている	16				
* 全ての保護者に対して、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている	15	1			

◇5段階評価

- 5 …… そうしている
 4 …… だいたいそうしている
 3 …… どちらとも言えない
 2 …… あまりそうしていない
 1 …… そうしていない